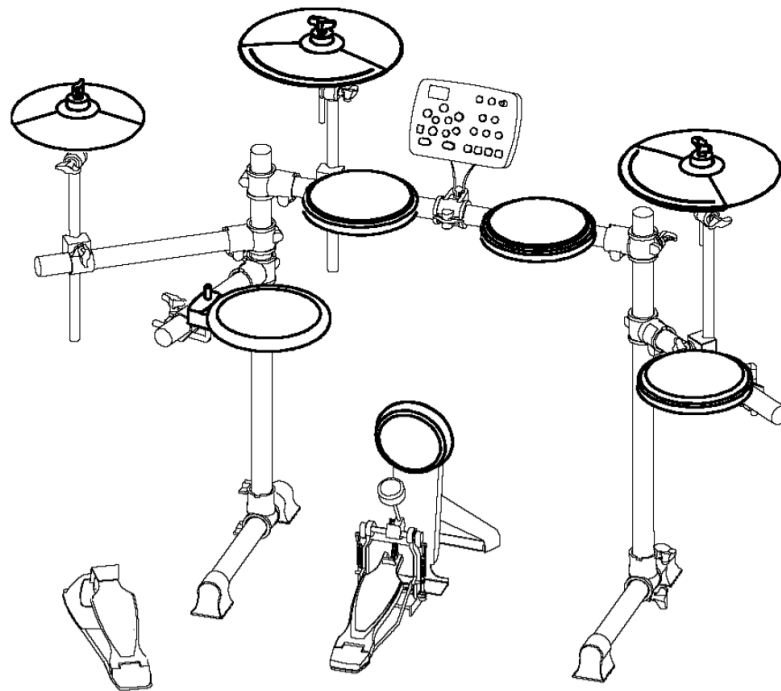


# **PLAYTECH**

## PDS-250 DIGITAL DRUM

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## 目次

安全上の重要事項.....	3
サービス.....	3
取扱い上の注意.....	3
クリーニング .....	3
設置環境 .....	4
電源.....	4
モニター・スピーカー .....	4
組み立て.....	5
ラック・システム .....	6
ラック組み立て手順 .....	7
ドラムキットの組み立て .....	8
スネアの取付 .....	8
タムの取付.....	8
キックの取付 .....	9
サウンド・モジュールの取付 .....	9
サウンド・モジュール .....	10
底面パネル .....	11
ドラムパッド演奏.....	12
ハイハット.....	13
ドラムキット.....	14
パターン演奏.....	16
パターン再生とドラム同時演奏.....	17
メトロノーム .....	17
録音.....	18
録音 .....	18
再生.....	19
USB & MIDI.....	21
ボイスリスト.....	22
仕様.....	24

## 安全上の重要事項

ユーザーが本機の変更、改造を行った場合は、保証対象外となります。



注意：この製品は FCC 規則第 15 部に準拠しており、Class B digital device に認定されています。

本製品を使用する際には、高周波を発信する場合があります。適切な設置および使用以外では、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用の判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変更する。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店またはテレビ・ラジオの技術者に相談する。

## サービス

下記のような事象が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

- 電源コード、アダプターが損傷した。
- 液体をこぼしたり、雨中にさらされた。
- 動作が異常又は明らかに性能が低下した。
- 落下したり、外部に損傷を受けた。

## 取扱い上の注意

- コントローラー、コネクター、パッド他の部品に過大な力を加えないでください。
- 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
- 落下したり、ぶついたり、重いものを載せたりしないでください。
- 演奏する前に、アンプのボリュームをチェックしてください。過大な音量で使用すると、聴覚障害の原因になります。

## クリーニング

乾いた柔らかい布で拭いてください。

## 設置環境

設置環境には十分注意してください。次のような環境に設置すると、本体に変形、変色他の影響を及ぼすことがあります。

- 直射日光（窓際など）が当たる場所
- 高温（熱源の近辺、屋外、車内など）になる場所
- 雨中、多湿にさらされる場所
- 埃の多い場所
- 振動が大きい場所

花瓶など液体がこぼれる可能性があるものを近くに置かないでください。

ラジオやテレビ受信に影響する場所に設置しないでください。

## 電源

- 必ず付属の電源アダプターを使用してください。
- 長時間使用しない場合は、本体の電源を切ってください。
- オーディオ信号ケーブルや配線ケーブルを外す時は、ドラムとその周辺機器の電源を先に切ってください。
- 電源アダプターが損傷した場合や本体に液体をこぼした場合は、ただちに電源を切ってください。
- 電源スイッチを短い間隔で切ったり入れたりしないでください。電気回路にダメージを与える場合があります。
- 雷が発生している時は電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 電気ストーブやオーブンなど、消費電流の大きい機器と同じコンセントに繋がらないでください。

## モニター・スピーカー

本機にはスピーカーが搭載されていません。

## 組み立て

図のドラムパッド、シンバルパッド、ハイハット・コントロールペダルの名の下部にパーツ番号があります。パーツが梱包されていた箱にも同じ番号が記載されています。

電源ケーブルと信号ケーブル類は図に表記されていません。

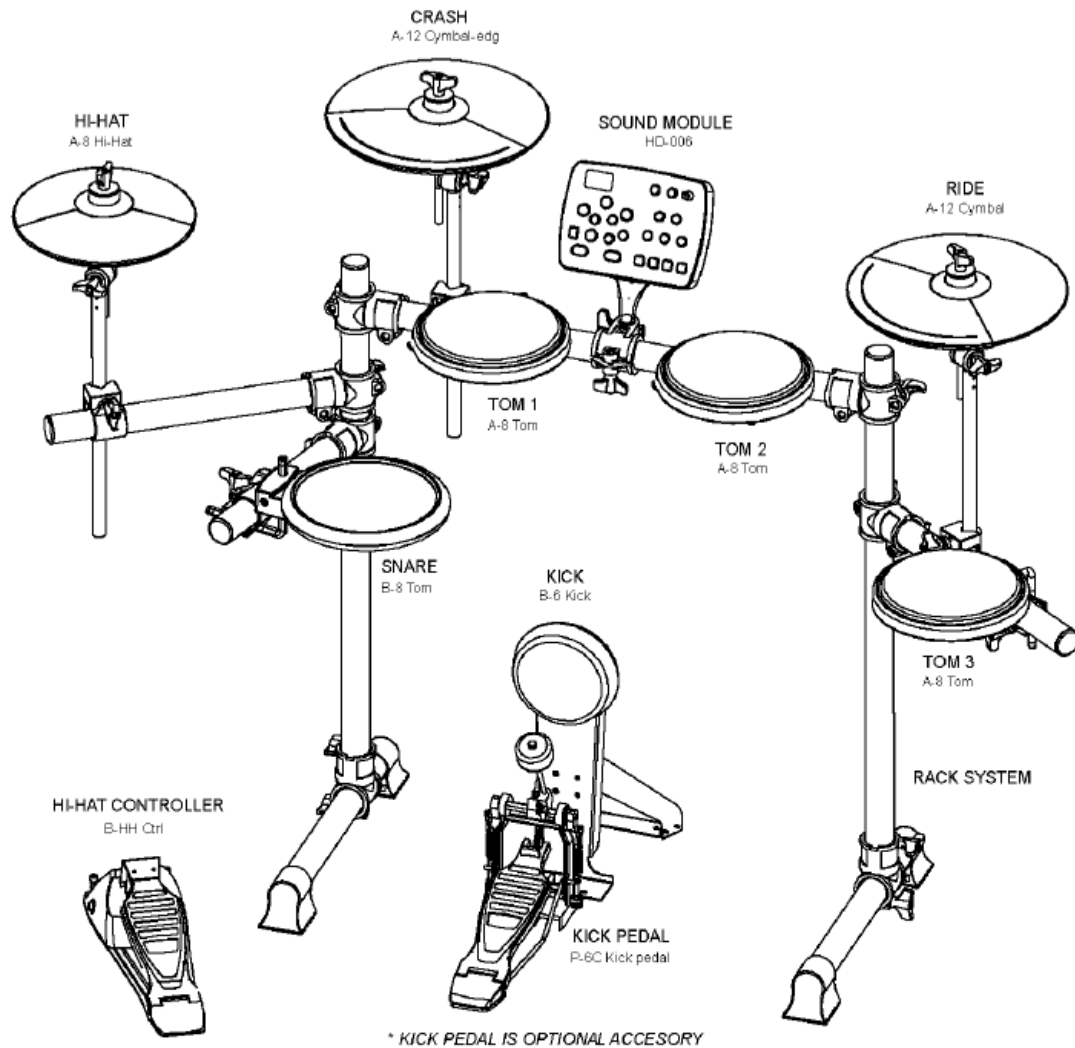
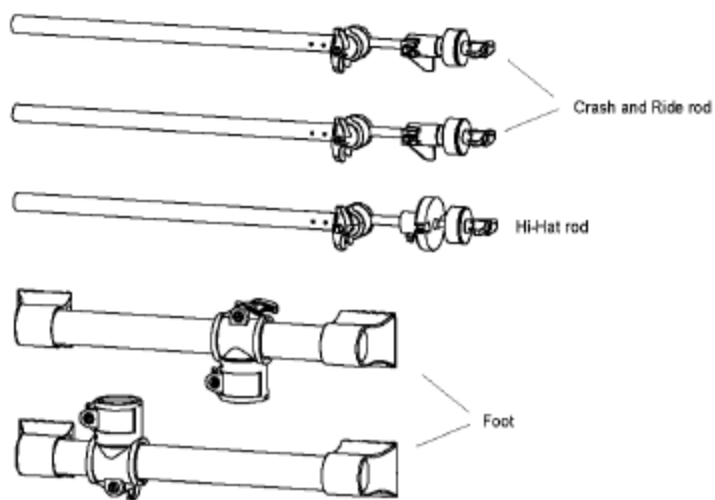
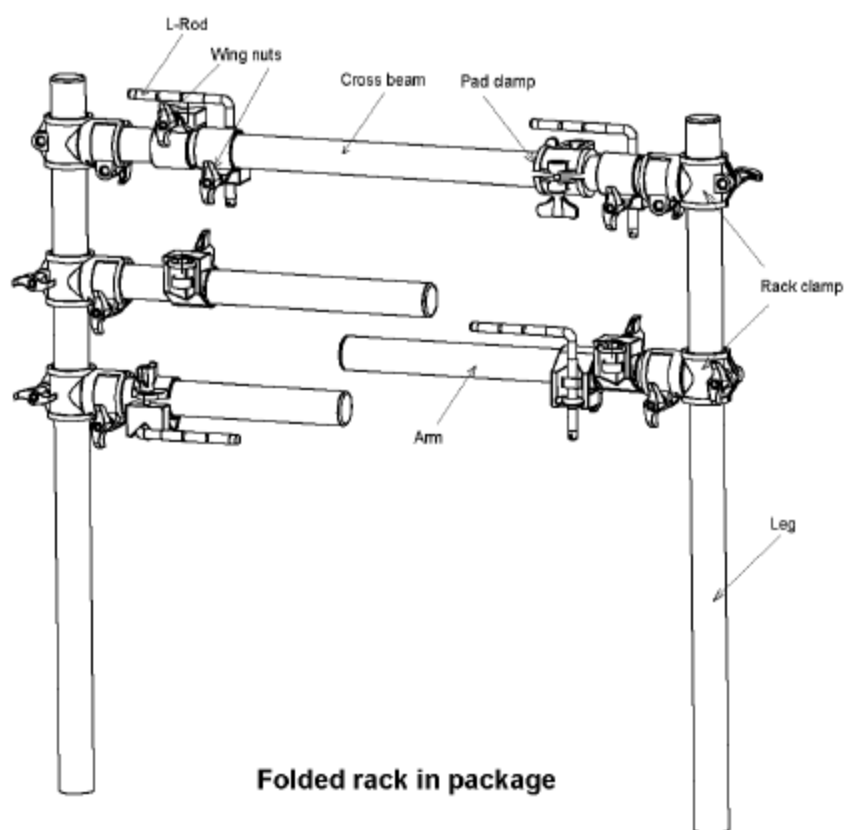


図 1

## ラック・システム



**Other parts of the rack system**

図 2

## ラック組み立て手順

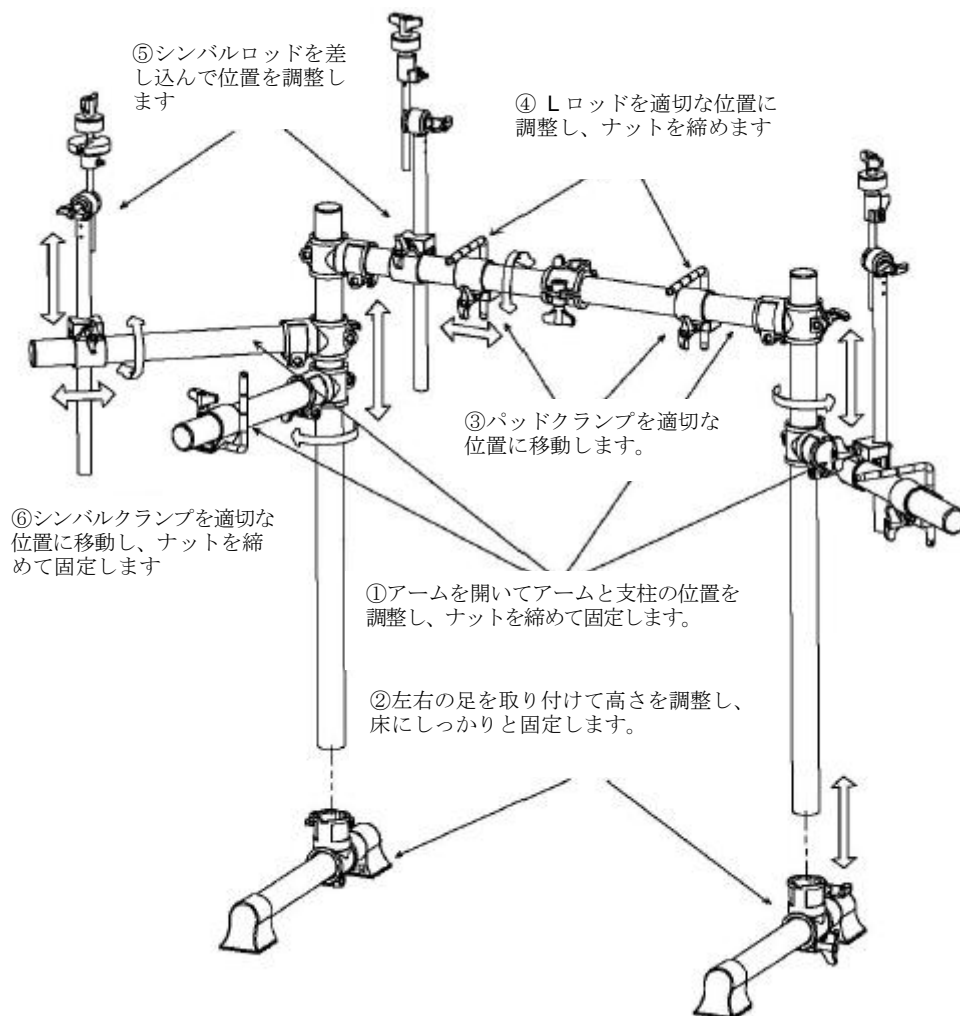
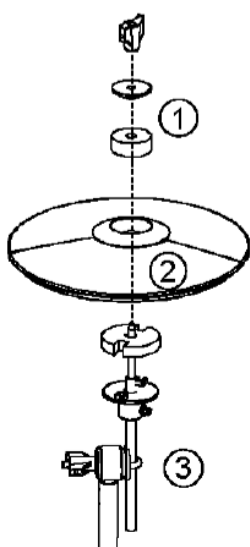


図 3

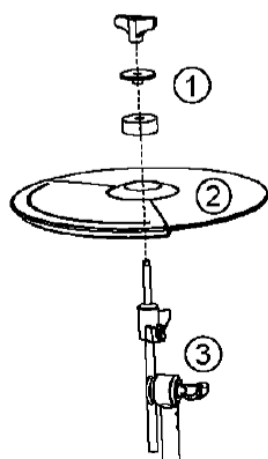
## ドラムキットの組み立て



### ハイハット・キットの組み立て

1. 蝶ナット、ワッシャー、フェルトパッドをハイハットから取り外します。
2. ハイハットをロッドに取り付けてから (1) で取り外した蝶ナット、ワッシャー、フェルトパッドを取り付けます。
3. ロッドの角度と高さを調整して蝶ナットを締めて固定します。

図 4

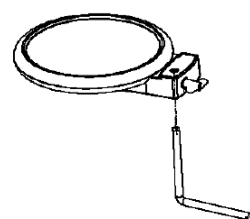


### クラッシュ&ライドの取付

1. 蝶ナット、ワッシャー、フェルトパッドをクラッシュ&ライドから取り外します。
2. シンバルパッドをロッドに差し込んでから (1) で取り外したナット、ワッシャー、フェルトパッドを使用して取り付けます。通常のシンバルのように蝶ナットを緩く締めて固定します。  
注意: クラッシュとライドはパーツ番号が異なります。図 1 を参照してください。
3. 角度を調整して蝶ナットを締めて固定します。

図 5

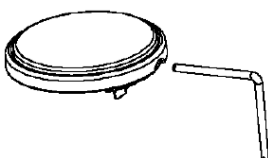
### スネアの取付



1. L ロッドにスネアを差し込んで蝶ナットを締めて固定します。
2. L ロッドの角度を調整して蝶ナットを締めて固定します。

図 6

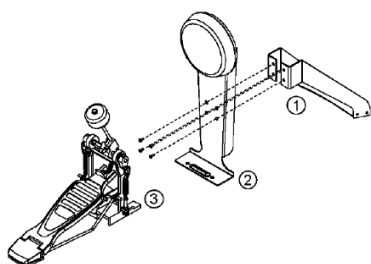
### タムの取付



1. タムにLロッドを差し込みます。  
注意: タムのパッドは共通です。
2. L ロッドの角度を調整してパッドの下にある蝶ナットを締めて固定します。



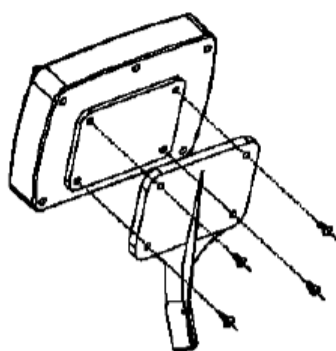
図 7



### キックの取付

1. キックスタンド②にブラケット①を取り付けてネジで固定します。
2. キックスタンドの足をペダルのスロットに差し込み、蝶ナットを締めて固定します。

図 8



### サウンド・モジュールの取付

1. サポート・ボードにサウンド・モジュールを取り付けてネジで固定します。

図 9

### 取り付けの最終調整

最後にアーム、クランプ、ロッドを演奏しやすい位置に調整してください。

## サウンド・モジュール

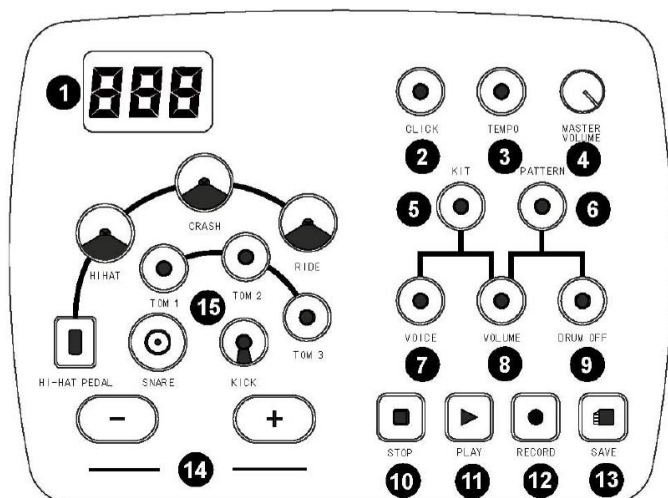


図 10

1. ディスプレイ: 3桁7セグメントLEDディスプレイです。キット番号、ボイス番号などを表示します。
2. CLICK: メトロノームをオン/オフします。
3. TEMPO: メトロノームのテンポを変更します。レコーディングやパターン演奏にも使用します。
4. MASTER VOLUME: つまみを時計回りに回すとマスター・ボリュームが大きくなり、反時計回りに回すと小さくなります。
5. KIT: ドラムキットを選択するモードです。
6. PATTERN: パターン演奏モードです。
7. VOICE: ボイスを選択するモードです。
8. VOLUME: ボリュームを調整するモードです。
9. DRUM OFF: パターン演奏をミュートします。
10. STOP: パターン演奏、又はレコーディングを停止します。
11. PLAY: パターンを再生します。
12. RECORD: レコーディング・モードです。
13. SAVE: レコーディングと設定を保存します。
14. +/-: パターン選択やボリューム設定など、様々な機能で使用します。
15. パッド選択: パターンを編集する時に、パッドを選択して、ドラムパッド演奏のパターンを作ります。

リセット: +/-ボタンを同時に押しながら電源を入れると“rSE”が表示され、全ての設定が工場出荷時(初期設定)に戻ります。録音された演奏は消去されます。

## 底面パネル

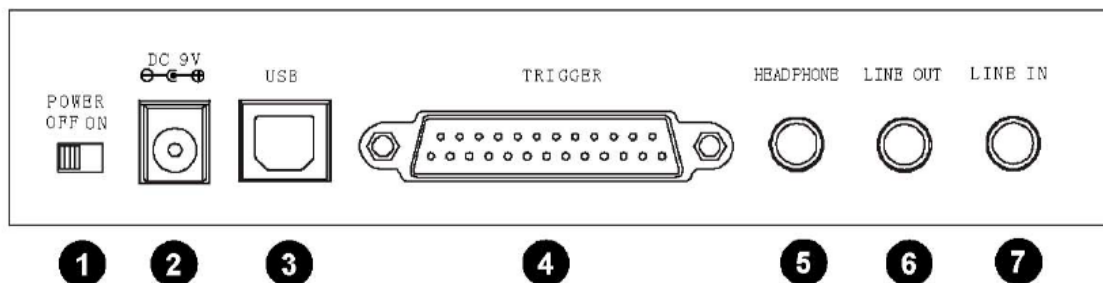


図 11

1. POWER OFF ON: 電源をオン／オフします。注意: 回路を正しくリセットするために、電源をオフした後、5 秒以上待ってからオンにしてください。
2. DC 9V: DC アダプターを接続します。
3. USB: 本機と PC を USB ケーブルを使用して接続します。本機の USB インターフェースは Windows XP/Vista、Windows 7、MAC と互換性があります。コンピューターは本機をオーディオ・デバイスとして認識します。
4. TRIGGER: このコネクタからパッドとハイハット・コントロール・ペダルにトリガー信号を送ります。各キットからのケーブルは 1 つにまとめられて、このコネクタに接続されます。
5. HEADPHONE: ヘッドフォンを接続します。スピーカーからの音をミュートして、演奏することができます。
6. LINE OUT: 本機にはスピーカーが搭載されていません。LINE 端子から出力されるステレオ・オーディオ信号を家庭用ステレオ、PA システム他各種アンプに接続してください。モノラル端子に接続する場合は、ステレオ／モノラル・アダプターを使用することを推奨します。
7. LINE IN: ステレオ・オーディオ入力端子です。ドラムのサウンドと外部オーディオ・信号をミックスします。CD プレイヤー、MP3 プレイヤーなども接続できます。

## ドラムパッド演奏

### 電源の投入

1. 本機に接続されている外部オーディオ・デバイスの電源をオフします。
2. ドラム演奏を止めて、電源ボタンを押してください。
3. 外部オーディオ・デバイスの電源を入れてください。
4. ドラムパッドを叩いてボリュームを調整してください。

### ドラムパッド演奏

全てのドラムパッドには強度センサーが搭載されています。強く叩くと大きな音が出ます。

### タムタム・フロアタム

タムの中心部分を叩くと音が出ます。



図 12

### シンバル

クラッシュ&ライドパッドのゴム部分を叩くとシンバルの音が出ます。

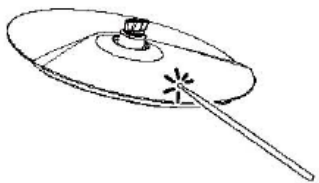


図 13

クラッシュ・パッドを叩くと音が伸びます。端をつかむと音は消えます。

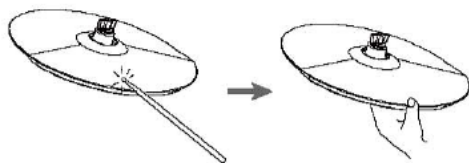


図 14

### スネアドラム

スネアの中心部分を叩くとヘッドサウンドが、リムを叩くとリムサウンドが出ます。

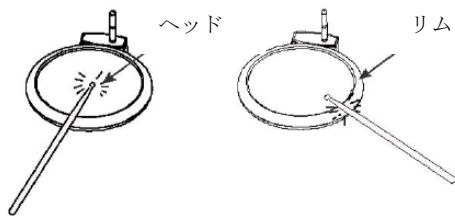


図 15

### ハイハット

1. ハイハット・コントロール・ペダルを踏まずにハイハット・パッドを叩くとオープン・サウンドが出ます。
2. ハイハット・コントロール・ペダルを踏み込んでハイハット・パッドを叩くとクローズ・サウンドが出ます。
3. ハイハット・コントロール・ペダルをゆっくりと踏み込みながらハイハット・パッドを叩くとオープン・サウンドからクローズ・サウンドに変わります。
4. ハイハット・コントロール・ペダルを強く踏み込むと、ハイハット・ペダル・サウンドが出ます。

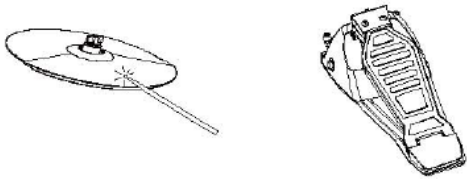


図 16

### キックドラム

キックドラム・ペダルを踏み込むとキックドラム・サウンドが出ます。

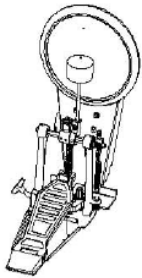


図 17

### マスターボリューム

マスターボリュームつまみを回して、マスターボリュームの調整をします。時計回りに回すとボリュームが上がり、反時計回りに回すと下がります。



図 18

## ドラムキット

本機には20種類のドラムキット・プリセットが搭載されています。それぞれのドラムパッドは固有の音を持っていますが、それらを組み合わせたキットがプリセットとして用意されています。各キットは変更して保存することができます。電源投入後、キットモードが自動的にオンになり、キットボタンが点灯してキット番号がディスプレイに表示されます。

他のモードで操作中でも、キットボタンを押すと、キットモードに入ることができます。



図 19

### キット選択

「+」又は「-」ボタンを押して01-20の範囲からキットを選択します。

初期設定では01が選択されます。キットモードに入ると前に設定したキットの番号が表示されます。

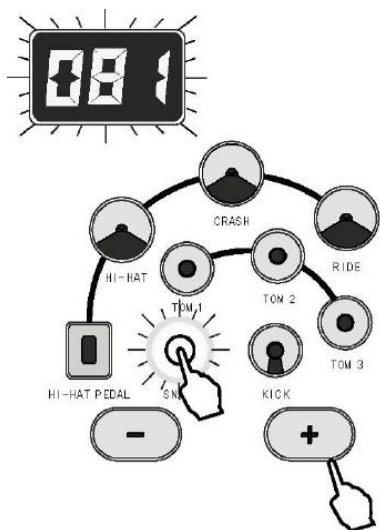
Kit No.	Kit Name	Kit No.	Kit Name
01	Pop	11	HeavyBeat
02	Electric	12	Metal
03	Jazz	13	Rock
04	BeatBox	14	Punk
05	808	15	Carbon
06	Fireball	16	Disco
07	Magnet	17	TightRope
08	Dry	18	Smashing
09	Machine	19	Largeness
10	Room	20	Funky

表 1

### キットの変更

キットを選択した後、そのキットにアサインするドラムパッドのボイスを選択し、ボリュームを変更して保存します。

## ドラムパッドのボイスとボリュームの変更



「VOICE」ボタンを押すとバックライトが点滅します。次に選択するドラムパッドを押すと、バックライトが点滅しボイスが聴こえます。スネアにはヘッドとリッドがあり、ハイハットにはオープンとクローズがあるので、選択するにはもう一度、ボタンを押します。ボタンのバックライトの色が青に変わります。初期設定ではタム1が選択されていますが、変更後は前に選択したドラムパッドが選択されます。

「VOLUME」ボタンでボリュームを変更します。

図 20

### ボイスの変更

VOICE ボタンと選択したドラムパッドが点滅しているときに、ボイスの番号がディスプレイに表示されます。「+」「-」ボタンを使って1-184の範囲からボイスを選択します。「+」「-」ボタンを同時に押すと初期設定値に戻ります。アサイン可能なボイスがVOICE LISTに表記されています。作成したボイスを聴くには、ドラムパッドを叩くかディスプレイのパッドボタンを押します。

ヒント：「+」「-」ボタンを長押しすると、数値が連続的に変わります。

同様に別のドラムパッドを押してボイスを設定します。

### VOLUME の変更

「VOLUME」ボタンを押すと、バックライトが点滅します。ディスプレイに現在設定されているボリュームが表示されます。「+」「-」ボタンを使用して0-127の範囲でボリュームを設定します。

ヒント：直接、ドラムパッドを叩くことにより、ディスプレイのパッドを選択することもできます。

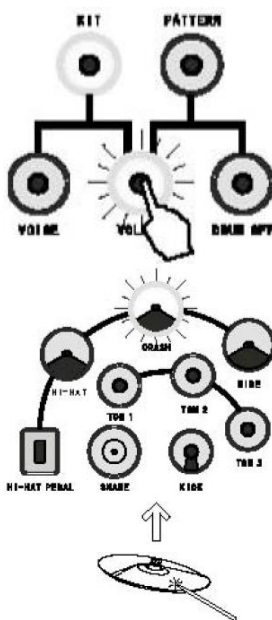


図 21

## ボイスとボリュームの変更モードを終了する

点滅している「VOICE」又は「VOLUME」ボタンをもう一度押すと、キットモードに戻り、ボタンのライトは消灯します。この時、本体の電源を切ると変更は失われます。必ず「SAVE」ボタンを押してから電源を切るようにしてください。

## パターン演奏

本機には 50 種類のプリセット・パターンが搭載されています。

### パターンを再生する



「PATTERN」ボタンを押すとパターン演奏モードがオンになり、バックライトが点灯します。ディスプレイに P で始まる番号が表示され点滅します。「+」「-」ボタンを使用してパターンを選択します。「PLAY」ボタンを押してパターンを再生します。再生中に演奏しているパッドボタンが点灯し、ディスプレイに再生時間が表示されます。パターン再生が終了すると、「STOP」ボタンが押されるまで繰り返し再生します。再生中でも「+」「-」ボタンを使用して再生するパターンを変更できます。

図 22

さらに、「TEMPO」ボタンを押してテンポを変更することができます。「+」「-」ボタンを使用して 40-240 の範囲でテンポを変更することができます。「+」「-」ボタンを同時に押すとテンポの値は初期値に戻ります。3 秒待つか、「TEMPO」ボタンをもう一度押すと、ディスプレイに再生時間が表示されます。

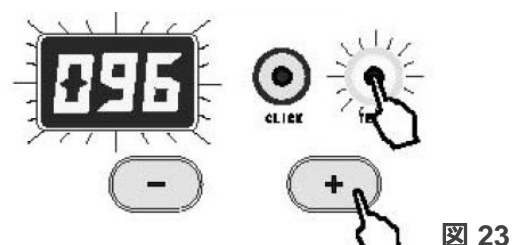
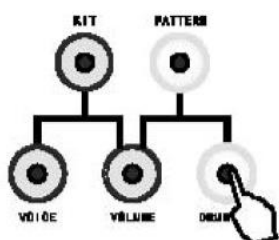


図 23

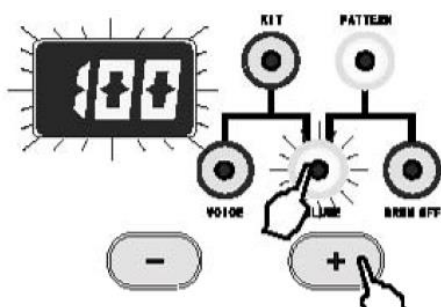


## パターン再生とドラム同時演奏



パターンの再生中にドラム演奏もできます。パターンからドラムパターンとバックグラウンドミュージックが再生されます。「DRUM OFF」ボタンを押して、ドラムパターンをミュートし、自分でバックグラウンドミュージックに合わせてドラム演奏をすることもできます。

図 24



パターン再生のボリュームは調整可能です。「VOLUME」ボタンを押すとバックライトが点滅し、ディスプレイに現在のボリュームが表示されます。「+」「-」ボタンを使用してボリュームを調整します。3秒待つ、或いは「VOLUME」ボタンを再度押すと、ディスプレイに再生時間が表示されます。

図 25

「KIT」ボタンを押すか「PATTERN」ボタンを再度押すことでキットモードに戻ります。

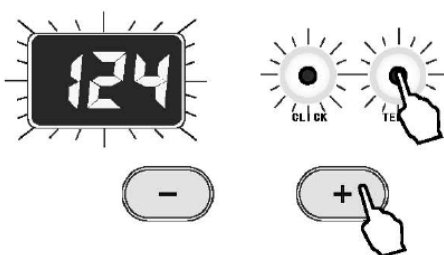
## メトロノーム



「CLICK」ボタンを押してメトロノームをオンします。ボタンのバックライトが現在のテンポに合わせて点滅します。もう一度押すと、停止します。

注意：パターン再生中はメトロノームの音は出ません。ボタンのバックライトは点滅します。

図 26

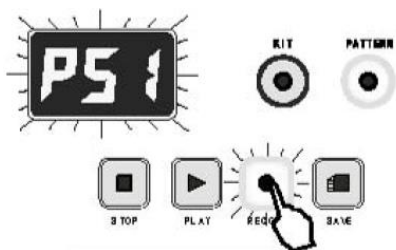


メトロノームのテンポは「TEMPO」ボタンを押して設定できます。「+」「-」ボタンを使用して40-240の範囲で設定できます。「+」「-」ボタンを同時に押すと、初期設定(120)に戻ります。3秒待つか、「TEMPO」ボタンを再度押すことによって、ディスプレイは前の画面に戻ります。

図 27

ヒント：「+」「-」ボタンを長押しするとデーターは連続的に変わります。これにより、テンポを大きく変えることができます。

## 録音



演奏を録音してパターン 51 として保存できます。パターン再生と同時に録音することもできます。録音前に、ドラムキットの選択、メトロノームのテンポ設定、パターン選択を行う必要があります。

図 28

### 録音の手順

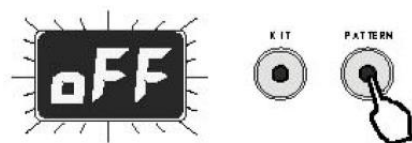
「RECORD」ボタンを押して録音モードに入るとボタンが点滅します。

「PATTERN」ボタンが自動的に点灯し、パターン再生と同時に録音できる状態になります。

ディスプレイにパターン番号が表示されます。「+」「-」ボタンを押して別のパターンを選択することができます。パターンのボリュームとテンポは調整可能です。

パターンのドラムサウンドは「DRUM OFF」ボタンでミュートされます。

「PATTERN」ボタンを押してパターン再生をオフすることができます。ディスプレイに“OFF”が表示されます。



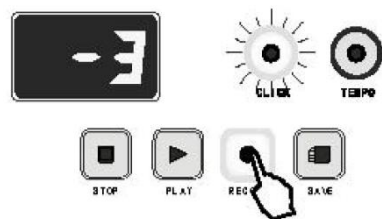
「CLICK」ボタンを押してメトロノームをオンすることができます。

図 29

## 録音

2 種類の録音方法があります。

- フリーパフォーマンス録音：パターンをオフして演奏、録音します
- パターン演奏録音：パターンを再生しながら演奏、録音します。バックグラウンド・ミュージックとドラムパターンを同時再生するか、「DRUM OFF」ボタンを押して、

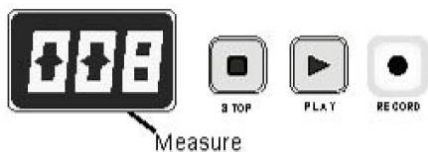


ドラムパターンをミュートし、自分でバックグラウンドミュージックに合わせてドラム演奏をすることもできます。パターンは録音を停止するまで繰り返し再生されます。パターン再生が終了する前に録音を停止しても、パターンの最後までその録音に残ります。

図 30

### 録音開始

録音を開始するには次の 2 つの方法があります。



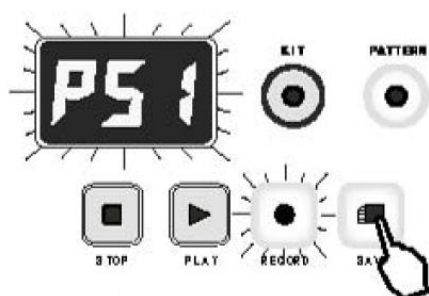
オート・スタート: 「RECORD」ボタンを押すと1-2-3-4  
カウントの後、録音が始まります。

シンクロ・スタート: どれかドラム・パッドを叩くと  
録音が始まります。

図 31

録音が始されると、「RECORD」ボタンは点滅から点灯に変わります。メトロノームがオンになっている場合は、カウントを開始し、録音時間がディスプレイに表示されます。

### 録音の停止



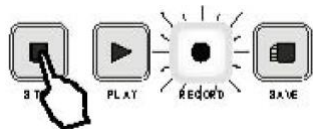
「RECORD」ボタンをもう一度押すか、「STOP」ボタンを  
押すと録音は停止します。「RECORD」ボタンが点滅し  
次の録音を開始できます。もう一度録音すると、録音  
時間分だけ前の録音に上書き（追加）されます。

ヒント: パターン演奏録音の場合はオート・スタートを  
使用して最初から再生録音してください。

図 32

メトロノームの音は録音されません。

録音が終了すると、「RECORD」ボタンが点滅するので、「SAVE」ボタンを押して“パターン 51”



として保存します。「RECORD」ボタンが点灯に変わり、「PATTERN」  
ボタンが点灯します。ディスプレイには“P51”が表示されます。  
録音された音源は本機の電源を消しても残ります。

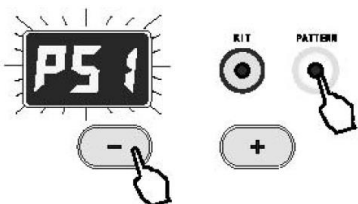
図 33

「RECORD」ボタンが点滅しているとき、「STOP」ボタンを押すとその時の録音は保存されません。

「RECORD」ボタンは消灯し、「PATTERN」ボタンが点灯します。ディスプレイには録音前に選択した  
パターン番号が表示されます。

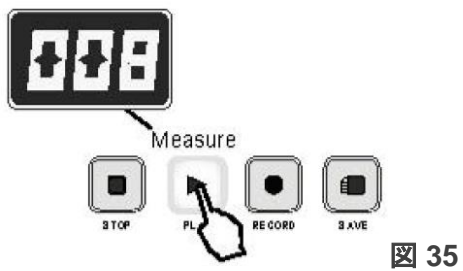
「KIT」ボタンを押すと、録音は停止されキットモードに入ります。その時の録音は保存され  
ません。

### 再生



「PATTERN」ボタンを押してパターン演奏モードに入り P51 を  
選択します。「PLAY」ボタンを押すと録音した音源が再生  
されます。

☒ 34



## USB & MIDI

MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は世界共通の電子楽器とコンピュータを繋ぐ通信インターフェースです。この通信インターフェースにより、MIDI 機器と各種デバイスを使用してシステムを構築し、個別の楽器だけでは実現できない幅広いコントロールが可能となります。コンピュータ、シーケンサー、エキスパンダー他の機器を繋ぐことにより、音楽の可能性が大きく広がります。

### USB:



USB を使用して本機と Windows XP/Vista、Windows 7、MAC を、ドライバーの追加無しに接続できます。本機は USB オーディオ・デバイスとして認識されます。

### MIDI インプリメンテーション・チャート

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	10	1-16	
ノートナンバー	0-127	0-127	
ベロシティ: ノート・オン	1-127	0-127	
ノート・オフ	64	0-127	
コントロール・チェンジ			
B9h 04h xxh	Yes	X	ハイハット・ペダル・コントロール
Bxh 79h 00h	Yes	Yes	全コントローラー リセット
Bxh 7Bh 00h	Yes	Yes	全ノート オフ
プログラム・チェンジ	X	Yes *	
エクスクルーシブ	Yes	Yes **	
RPN (標準パラメーター)	X **	Yes **	
NRPN (メーカーパラメーター)	Yes	Yes **	

\*: チャンネル 10 はバンク 0 のみサポートします。X: サポートしてません

\*\* : エクスクルーシブ、RPN、NRPN に関する詳細は販売店にお問い合わせください。

注意: 各々のパッドに対するチャンネル 10 を通した送信ノートは下表の値に固定されています。

パッド	ノート		パッド	ノート
タム 1	48		ライド	51
タム 2	45		ハイハット・オープン	46
タム 3	41		ハイハット・クローズ	42
スネア	38		ハイハット・ペダル	44
スネア・リム	37		キック	36
クラッシュ	55			

## ボイスリスト

No.	Description	No.	Description	No.	Description
	<b>GM</b>	041	HighAgogo		<b>SNARE</b>
001	HighQ	042	LowAgogo	081	Snare 1
002	Slap	043	Cabasa	082	Snare 2
003	ScraPush	044	Maracas	083	Snare 3
004	ScraPull	045	ShortWhist	084	Snare 4
005	Stick	046	LongWhist	085	Snare 5
006	SquarClick	047	ShortGuiro	086	Snare 6
007	MetroClick	048	LongGuiro	087	Snare 7
008	MetroBell	049	Claves	088	Snare 8
009	KickDrum2	050	Hi W-Block	089	Snare 9
010	KickDrum1	051	Lo W-Block	090	Snare 10
011	SideStick	052	MuteCuica	091	Snare 11
012	SnareDrum2	053	OpenCuica	092	Snare 12
013	HandClap	054	MuteTriang	093	Snare 13
014	SnareDrum1	055	OpenTriang	094	Snare 14
015	LoFloTom2	056	Cabasa	095	Snare 15
016	CloseHH	057	Shaker	096	Snare 16
017	LowFloTom1	058	Belltree	097	Snare 17
018	PedalHH	059	Castanets	098	Snare 18
019	LowTom	060	MuteSurdo	099	Snare 19
020	OpenHi-hat	061	OpenSurdo	100	Snare 20
021	Low-midTom		<b>KICK</b>	101	Snare 21
022	Hi-midTom	062	Kick 1	102	Snare 22
023	CrashCymb1	063	Kick 2	103	Snare 23
024	RHighTom	064	Kick 3	104	Snare 24
025	RideCymb1	065	Kick 4	105	Snare 25
026	ChCymbal	066	Kick 5	106	Snare 26
027	RideBell	067	Kick 6	107	Snare 27
028	Tambourine	068	Kick 7	108	Snare 28
029	SplashCymb	069	Kick 8	109	Snare 29
030	Cowbell	070	Kick 9	110	Snare 30
031	CrashCymb2	071	Kick 10	111	Snare 31
032	VibraSlap	072	Kick 11	112	Snare 32
033	RideCymb2	073	Kick 12	113	Snare 33
034	HiBongo	074	Kick 13	114	Snare 34
035	LowBongo	075	Kick 14	115	Snare 35
036	MuteConga	076	Kick 15		<b>SIDE STICK</b>
037	HiConga	077	Kick 16	116	SideStick 1
038	LowConga	078	Kick 17	117	SideStick 2
039	HighTimbal	079	Kick 18	118	SideStick 3
040	LowTimbale	080	Kick 19		

No.	Description	No.	Description	No.	Description
	<b>CLOSED HI-HAT</b>	142	Open Hi-Hat 12	164	Low Tom5
119	Closed Hi-Hat 1	143	Open Hi-Hat 13	165	Low Tom6
120	Closed Hi-Hat 2	<b>HI TOM</b>		166	Low Tom7
121	Closed Hi-Hat 3	144	Hi Tom 1	167	Low Tom8
122	Closed Hi-Hat 4	145	Hi Tom 2	<b>CRASH</b>	
123	Closed Hi-Hat 5	146	Hi Tom 3	168	Crash 1
124	Closed Hi-Hat 6	147	Hi Tom 4	169	Crash 2
125	Closed Hi-Hat 7	148	Hi Tom 5	170	Crash 3
126	Closed Hi-Hat 8	149	Hi Tom 6	<b>RIDE</b>	
127	Closed Hi-Hat 9	150	Hi Tom 7	171	Ride 1
128	Closed Hi-Hat 10	151	Hi Tom 8	172	Ride 2
129	Closed Hi-Hat 11	<b>MID TOM</b>		173	Ride 3
130	Closed Hi-Hat 12	152	Mid Tom 1	174	Ride 4
	<b>OPEN HI-HAT</b>	153	Mid Tom 2	175	Ride 5
131	Open Hi-Hat 1	154	Mid Tom 3	176	Ride 6
132	Open Hi-Hat 2	155	Mid Tom 4	<b>OTHER PERCUSSION</b>	
133	Open Hi-Hat 3	156	Mid Tom 5	177	Percussion 1
134	Open Hi-Hat 4	157	Mid Tom 6	178	Percussion 2
135	Open Hi-Hat 5	158	Mid Tom 7	179	Percussion 3
136	Open Hi-Hat 6	159	Mid Tom 8	180	Percussion 4
137	Open Hi-Hat 7	<b>LOW TOM</b>		181	Percussion 5
138	Open Hi-Hat 8	160	Low Tom1	<b>PEDAL HI-HAT</b>	
139	Open Hi-Hat 9	161	Low Tom2	182	Pedal Hi-Hat 1
140	Open Hi-Hat 10	162	Low Tom3	183	Pedal Hi-Hat 2
141	Open Hi-Hat 11	163	Low Tom4	184	Pedal Hi-Hat 3

## 仕様

ドラムパッド	3x8"タム、8"スネア（リム付き）、12"クラッシュ（チョーク付き） 12"ライド、8"ハイハット、6"キック、ハイハット・ペダル
ボイス	184
ドラムキット	20 プリセット
パターン	50 種類 ドラムパターンはミュート可能
パッドボタン	パッドサウンドとバックライト点滅
パッドサウンド変更	ボイスとボリューム
テンポ	初期設定：120、範囲 40-240
メトロノーム	オン/オフ
録音	1 演奏（上書きモード）
設定初期化	「+」 「-」 ボタン同時に押しながら電源をオン
ディスプレイ	3x7 LED
電源	9V DC
入出力端子	ヘッドフォン、ライン In/Out、USB